

長岡京市次世代育成支援行動計画（後期計画）

# 新・健やか子どもプラン

（平成22年度から26年度）

～ 子育てが楽しい長岡京へ ～

子育て・子育て・親育ち・地域育ちを応援します



平成22年3月  
長岡京市

## 長岡京市子どもをすこやかに育むまち宣言

平成18年12月15日  
長岡京市議会議決

子どもはみんな、私たちの宝です。明るい未来への希望です。

しかし、少子化や核家族化を背景に、家庭基盤の弱体化、地域コミュニティの希薄化が進み、子どもに対する犯罪や虐待、いじめが多発して、尊い生命が無残に奪われるなど、大変憂慮される事態にあります。

次代を担う子どものかけがえのない生命を守り、すこやかに育てることは、私たち大人の責務です。

私たち長岡京市民は、子どもが西山の緑にいだかれてすこやかに育つことを願い、家庭・地域・学校・行政が緊密なネットワークを形成して子どもの安全を守り、まちぐるみで子育てを進めることを誓って、ここに「子どもをすこやかに育むまち」を宣言します。

### 「子育て・子育ち・親育ち・地域育ち」とは...

- 「子育ち」 ... 子ども自身が心身ともに成長する力を自ら持っていること
- 「子育て」 ... 子どもの自立を手助けすること
- 「親育ち」 ... 子どもが自立する過程（子育て）を通じて、自らも親としての能力を発揮すること
- 「地域育ち」... 子育ちをしようとする子ども、子育てや親育ちをしようとする保護者から少し距離を置いて見守りながら、行政や事業者とともに必要に応じ支え合い、助け合える地域に育つこと



## はじめに



少子高齢化や核家族化、育児不安や児童虐待の増加など、子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化する中、平成15年7月に制定された次世代育成支援対策推進法により、全ての自治体に次世代育成支援対策の行動計画を策定することが義務付けられました。

本市においても平成17年3月に「次代を担う子どもの権利と利益が最大限尊重され、子どもと親が地域の支援の中で健やかに成長できる、子育てが楽しい長岡京を築いていく」ことを基本理念とする「長岡京市次世代育成支援行動計画～新・健やか子どもプラン～」を策定し、その実現に向けて取り組んできました。

一方、わが国の合計特殊出生率は平成17年には1.26と低下し、その後増加傾向にあるものの、人口を維持するために必要とされている2.08には程遠く少子化対策は重要な課題となっています。国では平成19年12月に「子どもと家族を応援する日本重点戦略」を策定し、働き方の見直しによる仕事と生活の両立できる環境づくりに取り組む方針が示されています。

このことを受けて、本市では、広く市民の皆様にご意見をお聞きするためニーズ調査を実施するとともに、市民や関係機関・団体の関係者で組織する長岡京市地域健康福祉推進委員会児童福祉部会を中心として前期行動計画（平成17年度～平成21年度）の達成状況や課題を整理し、より良い子育て支援環境づくりを目指して平成22年4月から新たに始まる「後期行動計画」（平成22年度～平成26年度）を策定しました。

健やかな子どもの成長のために大人が果たすべき責任として「子育ては文化である」と言われた方がありました。子育ては父母などの保護者が第一義的責任を有することを基本に、地域の周りのたくさんの人との関わりや取り組みの中で育まれます。この計画の実現に向けて、行政、学校、企業、家庭、地域住民や関係機関、活動団体等との協働のもと、互いに連携を図りながら取り組んでいくことが不可欠です。

今後、「創造と共生で住み続けたい長岡京」を目指して、環境、健康、安全を基本に地域に支えられながら、子どもが健やかに成長し、親にとっても子育てが楽しく感じるができるまちづくりを推進してまいります。皆様の一層のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この計画の策定にあたりご尽力をいただきました児童福祉部会員の皆様をはじめ、ニーズ調査、ヒアリング調査などにご協力と貴重なご意見をいただきました多くの市民や関係者の皆様に対しまして、心からお礼申し上げます。

平成22年3月

長岡京市長  
小田 豊

# 目 次

第1章 計画の概要	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の基本理念	2
3 計画の基本的視点	3
4 計画の基本目標	4
〔1〕子どもを生き、育てやすい環境づくり	4
〔2〕子育てと仕事を両立できる環境づくり	4
〔3〕地域で支える子育ての環境づくり	5
〔4〕次代を担う子どもが健やかに育つ環境づくり	5
5 計画の性格	6
6 計画の期間	6
7 計画の対象	6
第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く環境	7
1 少子化の動向	7
〔1〕人口の推移	7
〔2〕児童人口の動向	9
2 人口動態	10
〔1〕婚姻・離婚の動向	10
〔2〕出生数の動向	11
3 家族や世帯の動向	12
〔1〕世帯数と平均世帯人員	12
〔2〕家族構成	12
4 就労の動向	14
〔1〕就業人口	14
〔2〕女性の年齢階級別労働力率	15
5 子育て支援施策の概況	16
〔1〕保育所（園）の入所状況	16
〔2〕幼稚園の状況	17
〔3〕留守家庭児童会（放課後児童クラブ）の利用状況	17
〔4〕子育てに関する相談の状況	18
〔5〕母子保健の状況	18
〔6〕各種手当・助成制度の状況	20
〔7〕遊び環境の状況	21
〔8〕地域子育て支援拠点事業	22
〔9〕ファミリーサポートセンター事業の状況	24
6 学校の状況	25
〔1〕小学校・中学校の現状	25
〔2〕児童・生徒をめぐる問題等	26
7 地域での子育て支援活動の状況	27
〔1〕子育てサークルの現状	27
〔2〕保育所・幼稚園での地域における子育て支援	27
8 児童虐待に対する本市の取組み状況	28
〔1〕児童虐待の現状	28
〔2〕児童虐待防止のための本市の取組みの現状	28

9	調査結果からみる保育ニーズや子育てに関する意識	29
	〔1〕保育所に対するニーズ	29
	〔2〕留守家庭児童会（放課後児童クラブ）に対するニーズ	31
	〔3〕病後児保育に対するニーズ	31
	〔4〕一時保育に対するニーズ	32
	〔5〕地域子育て支援センター事業に対するニーズ	33
	〔6〕その他子育て支援サービスに対するニーズ	33
	〔7〕子育てと仕事の両立について	35
	〔8〕子育てに関する不安や負担感	38
	〔9〕子育てに関する相談相手	40
	〔10〕子どもの権利について	41
第3章	前期計画の主な取組み状況と課題	43
1	基本目標ごとの取組み状況と課題	43
	〔1〕子どもを生み、育てやすい環境づくり	43
	〔2〕子育てと仕事を両立できる環境づくり	47
	〔3〕地域で支える子育ての環境づくり	49
	〔4〕次代を担う子どもが健やかに育つ環境づくり	51
2	計画の数値目標の進捗状況	54
	〔1〕定期的な保育等に関する事業	54
	〔2〕一時預かり保育等に関する事業	56
	〔3〕地域における子育て支援に関する事業	57
第4章	施策の展開	59
	施策体系	59
1	子どもを生み、育てやすい環境づくり	61
	（1）親子の健やかな成長を支える母子保健・医療体制づくり	61
	（2）支援の必要な家庭や子どもの自立を支える環境づくり	65
	（3）地域で安心・安全に子育てができる環境づくり	69
	（4）子育ての経済的負担の軽減	71
2	子育てと仕事を両立できる環境づくり	74
	（1）多様なニーズに対応した保育サービスの推進	74
	（2）仕事と生活の調和の実現をめざした取組みの推進	77
	（3）男女が共同し取り組む子育ての推進	78
3	地域で支える子育ての環境づくり	80
	（1）子育てに関する相談・援助体制の充実	80
	（2）子育てに関する情報提供の充実	84
	（3）子育てに関する学習機会の充実	85
4	次代を担う子どもが健やかに育つ環境づくり	87
	（1）子どもの人権尊重の視点に立つ環境づくり	87
	（2）子どもの個性と能力を伸ばす教育の充実	89
	（3）子どもの社会性を育む遊び・交流の場の充実	91
	（4）子どもの健全な成長を支援する環境の充実	94
	（5）子どもが安心・安全に暮らせる環境の充実	95
5	今後5年間の目標事業量	96
	（1）保育サービス等の目標事業量	96
	（2）取り組み実施事業の今後の方向	98

第5章 推進体制	101
1 計画の進捗状況の管理及び評価	101
2 市民参加・参画と自助・共助による取組みの推進	101
3 市民や関係団体との連携	101
4 地域の人材の確保と連携	102
資料編	101
1 長岡京市地域健康福祉推進委員会設置要綱	103
2 長岡京市地域健康福祉推進委員会児童福祉部会員	106
3 長岡京市地域健康福祉推進作業部会設置要綱	107
4 長岡京市地域健康福祉推進作業部会部員	110
5 計画策定の体制	111
6 計画策定の経過	112
7 子育て支援サークル・団体に対するヒヤリング調査について	113

